

町ノ内ニ有三橋是其第一也、下流ハ新熊野社ノ良ノ谷ヨリ出テ、橋ノ西ノ方入鴨川也、

〔山城名勝志〕十六伊郡一橋在東福寺北伏見、

二橋在大和大路九條流水出東福寺常樂庵與而經、

三橋在二橋南流源出從東福寺丈東而經洗玉淵也、偃月通天、

〔保元物語〕上官軍方々手分の事

基盛大和路ヲ南ヘハツカウスルニ、法性寺ノ一ノハシノ邊ニテ、馬上十騎バカリ、ヒタ甲ニテ物

ノグシタルツハモノ上下廿餘人、都ヘウテゾノボリケル、基盛コレハイヅレノ國ヨリドナタヘ

參ズル人ゾトヒケレバ、コノホド京中物忬ノヨシ承ルアヒダ、ソノ子細ヲウケ給ハラントテ、

近江ニ候者ノ上洛仕ルニテ候トコタフ、

〔山槐記〕治承三年六月三日庚寅、今日前右大將宗盛法性寺一橋西邊建立一堂、置丈六阿彌陀像、令前

權僧正公顯供養云々、是室家周忌佛事歟、件人去年七月十六日逝去也、

〔源平盛衰記〕三十五高綱渡宇治河事

大勢河ヲ渡ヌレバ、千騎二千騎、五千六千、二百騎三百騎、七百八百、思々心々ニ、或ハ木幡大道醍醐

路ニ懸ツテ阿彌陀ガ峯ノ東ノ麓ヨリ攻入モアリ、或ハ小野庄勸修寺ヲ逼ツテ七條ヨリ入モア

リ、或櫃川ヲ打渡、木幡山深草里ヨリ入モアリ、或ハ伏見、尾山、月見岡ヲ打越テ、法性寺一二橋ヨリ

入モアリ、道ハ互ニ替レ共、同ジ都ヘ亂入、

〔燕石襍志〕二一二の橋

按ずるに、一二の橋は山城國深草有略中法性寺は東福寺北門前の南、西向にあり、盛衰記に

法性寺の一二の橋と云るせしは、このころ法性寺の境内に屬せしなるべし、

〔山城名勝志〕十六伊郡法隆寺記云、嘉禎四年八月上旬、六波羅將軍藤原賴經法隆寺太子寶物、可令上洛